

会 議 録

会 議 名	令和4年度第4回文化財保護審議会		
事 務 局	生涯学習課 文化財係		
開 催 日 時	令和5年2月8日（水）午前10時から午前11時05分		
開 催 場 所	第2庁舎 801会議室		
出 席 委 員	二宮会長 椎名委員 孤島委員 鈴木委員 太田委員		
欠 席 委 員	伊藤委員		
事 務 局 員	関生涯学習課長 碓井文化財係長 高木主任（学芸員）		
傍 聴 の 可 否	可	傍 聴 者 数	0名
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
	<p>報 告</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 玉川上水・小金井桜整備活用計画 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ヤマザクラ補植事業について</li> <li>(2) 都立農業高等学校との事業連携について</li> <li>(3) 小金井桜名勝指定100周年事業について</li> </ol> </li> <li>2 主催事業の結果 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 史跡めぐり「仙川の谷を見る歩く」</li> <li>(2) 文化財講演会「小金井桜の誕生」</li> <li>(3) 企画展「梶家の絵図」</li> </ol> </li> <li>3 多摩郷土誌フェアについて</li> <li>4 市指定文化財「吉野家住宅」「天明家住宅」の修理について</li> <li>5 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)貫井遺跡の発掘調査について</li> <li>(2)文化財行政に係る陳情について</li> <li>(3)文化財説明板「鴨下製糸工場跡」について</li> </ol> </li> <li>6 次回の会議日程 令和5年5月10日（水）</li> </ol>		

## 会 議 結 果

関生涯学習課長 皆さん、おはようございます。お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから、令和4年度第4回文化財保護審議会を開催いたします。

本日は、伊藤委員よりご欠席のご連絡をいただいております。

それでは、ここからの議事進行につきましては、二宮会長にお願いしたいと思います。会長、よろしくお願いたします。

二 宮 会 長 おはようございます。本日は、令和4年度最後の審議会となります。円滑な議事進行に務めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、次第に従って進めさせていただきます。

### 報告事項

#### 1 玉川上水・小金井桜整備活用計画について

二 宮 会 長 それではまず、「報告事項1 玉川上水・小金井桜整備活用計画について」の「(1) ヤマザクラ補植事業について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

高木主任(学芸員) 「(1) ヤマザクラ補植事業について」

例年行っております、「小金井桜復活事業」について、現在までの進捗状況、及び令和4年度に実施する内容について報告いたします。

平成22年度の事業の開始以降、小金井市域のエリアをいくつかの整備区間に分け、当市の桜の育成、都教育庁の桜の苗木の補植、都水道局の高木類の伐採等の整備を進めてきたところです。その結果、小金井市域では、全体の約7割のエリアにおいて、一定完了しています。

そして、令和4年度に実施する整備事業につきましては、整備が一定完了した区間においても、本整備事業の開始前から存在していた桜の古木、既存木の枯死が進んでおります。そのため、本整備事業の効果をより高めること、そして、名勝景観の維持を図ることが必要となることから、既整備区間において、欠損木に対する補植、という観点で、引き続き植樹を行っていきます。

場所につきましては、小金井橋から新小金井橋間において補植作業を進めていきます。現状、欠損木等に対する補植が必要となる場所が、26か所あり、26本の植樹が必要となっておりますので、令和4年度は、その中で10本の補植を行うこととしています。この10本につきましては、東京都教育庁と小金井市の連携事業として植樹を行うものです。植樹作業につきましては、令和5年2月17日に実施する予定です。

後ほどご報告させていただきますが、東京都立農業高等学校との連携事業が開始となり、その一環として、2本を追加植樹することになりました。植樹する桜の本数は、合計で12本になります。

二 宮 会 長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

委 員 全 員 (特になし)

二 宮 会 長 それでは、引き続きまして、「(2) 都立農業高等学校との事業連携に

ついて」につきまして、事務局より説明をお願いします。

それでは、「(2) 都立農業高等学校との事業連携について」につきまして、私の方からご説明させていただきます。

先ほど、事務局より、令和4年度の整備事業において、都立農業高等学校との連携事業として、2本の桜の苗木の植樹を行う、という旨ご報告させていただきました。私の方からは、この間の経過も含めましてご報告させていただきます。

玉川上水・小金井桜整備活用実施計画に関する、府中市の東京都立農業高等学校との連携について、このたび小金井市と協議が整ったことから、東京都立農業高校による苗木の補植作業を実施することとなりましたことをご報告させていただきます。

まずは本件に係るこれまでの経過につきまして簡単にご説明させていただきます。令和3年3月に、本市の名勝小金井桜復活プロジェクトについて、東京都立農業高等学校教諭から市に、学校として協働で何か取り組めることはないか、という趣旨のお申し出をいただきました。

本市といたしましては、整備事業のさらなる推進、という観点からも、また、次世代を担う若い世代の生徒の皆さんに文化財保護事業の意義を共有していただく、という観点からも、大変意義深いことと考え、このお申し出をありがたくお受けさせていただきました。

そのお申し出をいただいて以降、都立農業高等学校と市との間で様々な調整を進めさせていただくことと同時に、名勝小金井桜復活プロジェクトに多大なご協力をいただいております名勝小金井桜の会の会員の方による接ぎ木の技術の都立農業高等学校の生徒への伝授など、名勝小金井桜の会と都立農業高等学校との間でも交流していただいております。

玉川上水・小金井桜整備活用実施計画に係る主な連携項目としましては、「ヤマザクラ苗木の育成に関すること」、及び「ヤマザクラ並木への補植に関すること」等となっています。そしてこの度、令和5年2月1日の「小金井市と東京都立農業高等学校との『玉川上水・小金井桜整備活用実施計画』に関する連携協定」の締結を記念し、令和5年2月9日に、都立農業高校において、生徒の皆さんの手で育成していただいた2本のヤマザクラ苗木を、記念樹として玉川上水堤に生徒の皆さんの手で植樹していただく運びとなりました。

玉川上水・小金井桜整備活用実施計画に係る連携につきましては、小金井市と東京都立農業高等学校との間で締結した連携協定に基づき実施していくものですが、令和5年度以降の連携につきましては、都立農業高等学校のご意向も踏まえ、桜並木の補植の可否、またはその他の事業連携も含めて、年度毎に調整させていただきながら進めてまいりたいと考えております。この度の連携によって、名勝小金井桜復活プロジェクトがさらに進展していくことはもとより、高校生という若い時分から文化財保存事業に携わる経験が重要である、という農業高校のご意向を尊重しまして、今後連携を深めてまいりたいと思います。

私からの報告は以上です。

二宮会長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

鈴木委員 ヤマザクラ苗木の育成を都立農業高等学校において行っていただいたとご説明いただきました。ご説明いただいた中で、今後は年度毎に連携事業の内容を見直していく、とのことでしたが、植樹本数を今後増やしていく、等の具体的な今後の見通しはありますか？

関生涯学習課長 令和4年度につきましては、2本のヤマザクラ苗木の植樹を行っていただきましたが、年度毎に連携事業の内容を見直していく形とした大きな理由は、都立農業高等学校において育成していただいている苗木の生育状況、出荷可能な苗木の本数も、年度によって異なるであろう、という考えによるものです。令和4年度につきましては、苗木の生育状況も踏まえ、2本の植樹を行っていただいた、ということです。あくまでもこれは官学連携による事業であり、事業者による生業、とは性質を異にするものですので、本連携事業とは別に、造園業者等に事業委託として発注することは今後も継続しつつ、都立農業高等学校には年度毎に可能な範囲でご協力をお願いさせていただく、ということで、年度毎の植樹本数等の連携内容につきましては、その都度、都立農業高等学校のご意向をお伺いさせていただきながら協議させていただきたい、というのが趣旨でございます。

鈴木委員 分かりました。

高木主任(学芸員) 補足で、都立農業高校に育成していただくヤマザクラ苗木も、名勝小金井(サクラ)の植樹条件に沿って育成していただくこととなります。歴史的由来のルーツのヤマザクラは、都立農業高校とも認識を共有した上で、連携を進めてまいりたいと考えております。そして、その事業主旨は、連携協定締結に際し、都立農業高校にもしっかりとご理解をいただいております。令和4年度に植樹を行う2本のヤマザクラ苗木についても、歴史的由来のルーツを継ぐ木となります。また、今後、苗木育成の第一段階となる接ぎ木の作業から、都立農業高校の生徒たちの手によって行った苗木の育成も開始していく予定ですので、苗木の生育状況等に合わせ、年度毎の植樹本数についてはその都度都立農業高校と協議してまいりたいと考えております。

椎名委員 都立農業高校の敷地内の畑において独自に育成している、ということですか？

高木主任(学芸員) ご指摘の通りです。接ぎ木から植樹まで、すべて都立農業高校の生徒の手によってできるようになれば、それは非常に喜ばしいことと考えています。

二宮会長 植樹作業のスケジュールについては既に決まっているのでしょうか？

高木主任(学芸員) 都立農業高校の生徒による植樹作業は、令和5年2月9日に実施予定となっております。

二宮会長 植樹に伴う記念碑の類のものの建立は予定されていますか？

高木主任(学芸員) 名勝小金井(サクラ)のヤマザクラ並木を構成するヤマザクラの木に東京都教育庁が据付するプレートは必ずつきます。

二宮会長 せっかくの機会ですので、記念に形に残る何かがあるとなお良いと考えます。

「(1) ヤマザクラ補植事業について」及び「(2) 都立農業高等学校との事業連携について」につきまして、他にご意見・ご質問等ございますでしょうか？

鈴木委員 都立農業高校の生徒による植樹を行った後の、植樹した苗木の管理については、都立農業高校が関与することはないのですか？

関生涯学習課長 玉川上水沿いに植樹を行った後の管理につきましては、基本的に東京都教育庁の管轄になりますので、その点は従前通り変わらないものと考えています。

鈴木委員 この連携をきっかけとして、小金井市において今後官学連携の活動が様々な分野で盛んになってくれば、この連携の意義もさらに大きなものになると思います。

二宮会長 ありがとうございます。「(1) ヤマザクラ補植事業について」及び「(2) 都立農業高等学校との事業連携について」につきまして、他にご意見ございますでしょうか？よろしいでしょうか？

委員全員 (特になし)

二宮会長 それでは、引き続きまして、「(3) 小金井桜名勝指定100周年事業について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

碓井文化財係長 それでは、小金井桜名勝指定100周年記念事業につきまして、令和4年度第3回文化財保護審議会開催時からの進捗状況につきまして、私の方からご説明させていただきます。

令和5年2月3日(金)に、令和4年9月に開催いたしました説明会にご出席を賜りました市内の代表的な事業者団体、奉仕団体の代表者の皆様にお集まりいただき、「第1回 名勝小金井桜名勝指定100周年記念事業実行委員会」を開催させていただきましたことをご報告させていただきます。

第1回実行委員会における議事において、実行委員会の組織につきましては、実行委員長に教育長の大熊、名誉実行委員長に市長の白井が就任させていただき、事務局は小金井市生涯学習課、及びこれまで10年以上にわたり、市と協働して名勝小金井桜整備事業に携っている「名勝小金井桜の会」とで担わせていただくことを決定しました。

また、本記念事業のキャッチコピーにつきましては、「名勝小金井桜を『知る』『つなげる』『笑顔広がる』」とし、名勝小金井桜のことをもっと広く市民、特に未来を担う多くの子供たちに知ってもらうきっかけとすること、小金井の未来を担う世代の子供たちに名勝小金井桜の存在、そしてその歴史、現在、未来について正しく知ってもらうことを通じて、自分が生まれ育ったまち小金井への郷土愛や誇りを育み受け継いでもらうこと、そして、この記念事業を通じて、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、少なからず失われたまちの盛り上がりや市民の皆様の笑顔を取り戻すきっかけとすることを目指すこととし、具体的には、記念式典、学校等への桜の植樹、名勝指定100周年記念事業と銘打った冠事業や、実行委員会にご参加くださっている団体の皆様

が日頃のご活動の中で培われたノウハウを生かした多彩な特別事業を行うという方向性についてご説明させていただき、同時に、ワーキンググループ形式で多くの貴重なご意見も賜りました。

今後につきましては、令和5年度早々に断続的に実行委員会を開催させていただき、令和5年8月末頃を目途に事業全体の大枠を決定すべく、実行委員会での議論を進めてまいりたいと考えております。

本件につきましては、今後も引き続き、進捗状況等につきまして本審議会にご報告させていただき、必要に応じてご意見・ご審議等をお願いさせていただけたら、と考えさせていただいておりますので、今後とも何卒よろしくお願いいたします。

私からの報告は以上です。

二 宮 会 長

ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

本記念事業の実施に際し、周辺自治体と連携した事業展開の予定等はないのでしょうか？

碓井文化財係長

現時点では、あくまでも小金井市単独での事業、という形で想定しております。

関生涯学習課長

補足させていただきます。ただいま担当よりご説明させていただきました通り、現時点では小金井市として、小金井市民の皆様とともに本記念事業を進めてまいりたい、というのが本記念事業の趣旨でございます。

ただし、今後の事業展開によっては、周辺自治体に対し連携の呼び掛けを行う場面もある可能性もございますが、現時点ではあくまで、小金井市として「名勝指定100周年」を盛り上げていく、というのが市の考えでございます。

二 宮 会 長

小金井市を含む4市に跨って存在している、という小金井桜の特性に鑑みますと、他市との連携については意識しておいた方がよいのではないかと考えます。

関生涯学習課長

市では、そういったご意見もお受けさせていただいていることは事実です。ご指摘の通り、「名勝小金井（サクラ）整備事業」は小金井市が単独で行っている事業ではなく、東京都、沿岸市4市の広域連携によって進められている事業でございますので、他市との連携の重要性につきましては十分に認識しているところです。

ただし、整備事業の進捗状況につきましても、他の沿岸市と比べて、小金井市がかなり先行していることも実情ですので、まず小金井市が先陣を切る形で盛り上げる中で、祝賀ムードの輪がどんどん広がっていくような形で、他自治体とも連携できれば、と考えております。

太 田 委 員

先ほど、都立農業高校の生徒の皆さんが整備事業の一翼を担ってくださっている、というご説明をいただきましたが、都立農業高校のお考え次第にはなりますが、都立農業高校の生徒の皆さんに、自分たちの活動報告を行ってもらえるような取組もあると良いのでは、と考えます。

個人的に、玉川上水沿いを小平市から武蔵野市まで歩く機会もありますが、小金井市域については非常によく整備されている、という印象

を受けるのですが、反面、他市の整備状況には物足りなさを感じざるを得ない、という印象を抱いていることも事実ですので、せつかくの機会を生かし、小金井市の整備事業の進捗状況をアピールしつつ、他の沿岸市にコンタクトを取り、連携を呼び掛けていくような取組が重要である、と考えますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

関生涯学習課長

説明が分かりづらく申し訳ございません。まず、実行委員会の進捗含め、本事業のコンセプトとして、小金井市による、小金井市民をターゲットにした催し、という考え方をベースにしています。そして、太田委員からご指摘をいただきました行政間の連携につきましても、本記念事業とは切り分けて考えていく必要があります、それを混同させてしまうと、結果的に本事業の趣旨が分かりづらくなってしまい、実行委員会の進め方も難しくなってしまう懸念があると考えています。

ただし、太田委員からご指摘をいただいた点は、市としても当然課題として認識しており、小金井市としてこのような事業を計画している、ということにつきましては、東京都はもちろん、小平市等の他の沿岸市にも当然申し伝えをさせていただいておりますので、その結果として、他自治体も含めて、整備事業の前進に向けた起爆剤となればこれ以上の成果はない、と考えておりますので、ご指摘いただいた行政間の連携につきましても、本記念事業を1つのきっかけとして、より深めていければ、と考えております。

二 宮 会 長

ありがとうございます。「(3) 小金井桜名勝指定100周年事業について」につきまして、他にご意見ございますでしょうか？よろしいでしょうか？

委 員 全 員 (特になし)

## 2 主催事業の結果

二 宮 会 長

それでは、引き続きまして、「2 主催事業の結果」につきまして、事務局より説明をお願いします。

高木主任(学芸員)

令和4年度第3回文化財保護審議会以降、この間実施した3事業につきましてご報告させていただきます。

### (1) 史跡めぐり『仙川の谷を見る歩く』

令和4年11月12日(土)に開催し、「まち歩き」の形で、仙川周辺の文化財史跡等を巡りました。小金井市域内の北西のエリアを中心に歩きました。玉川上水をはじめ、近年発見された小金井村分水の関連遺構である上貫橋等をご案内しました。定員を超える多くの参加申込をいただき、当日は16名の方にご参加をいただきました。「川」というテーマではございましたが、参加者の皆様のご興味や関心の高さを窺い知ることができ、現代を生きる我々の中では、ある意味、「川」と思われていないであろう仙川に、今後もスポットを当て、様々な視点の企画を考えていければ、と改めて思いました。

### (2) 文化財講演会『小金井桜の誕生』

本講演会の副題を「史蹟名勝天然記念物保存制度と近代の小金井桜」と銘打たせていただきました。渋沢栄一史料館の学芸員、清水裕介氏を

講師にお招きし、主に明治時代から大正時代にかけての小金井桜に関する歴史的な流れ、大正13年（1924年）に国の名勝に指定されるに至った経過などについてご講話をいただきました。本事業は、令和4年11月25日（金）に開催し、23名の方にご参加いただきました。

「小金井桜と明治天皇」という非常に興味深い内容をご説明いただきました。概要として、明治天皇が、京都から東京に移られています、宮中文化を東京の様々なエリアにちりばめられたのではないかと、宮中文化の桜の花見を小金井桜に求めた、という捉え方をされており、個人的に大変興味深く感じました。新たな小金井桜の1つの側面ではないかと考えています。さらに、渋沢栄一をはじめとした、明治～大正期の有力者が小金井桜の保護活動に非常に精力的に関わり、その結果として「名勝小金井桜」の誕生に結びついた、という近代の小金井桜の背景も詳しくご説明いただくことができ、小金井桜の重要性を考え直す大変有意義な講演会となりました。

### (3) 企画展『梶家の絵図』

本展示は、令和4年11月1日～12月28日の50日間開催いたしました。来館者数は、50日間合計で、1,035名の方にご来館いただきました。実は小金井市文化財センターの企画展においては、この10年間のうちでは最も多い来館者数となりました。梶家の絵図資料が初公開という面もあったのかと思いますが、関心の高さがうかがえました。今後は、梶家の資料群、古文書を含めて文化財にはまだ指定していないので、「指定」という評価の視野を入れながら、梶家の資料群の調査研究を進めていきたいと考えております。

以上で報告を終わります。

二宮会長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

椎名委員 文化財講演会の内容につきまして、小金井桜の歴史というのは、60～70年程度の周期で隆盛期と衰退期を繰り返している、という感じがしました。

現状は少し衰退期、と言えらると思えますが、現在取り組んでいる整備事業の成果として、今後また隆盛期を迎えることができれば、と思いました。

二宮会長 ありがとうございます。他にご意見ございますでしょうか？よろしいでしょうか？

史跡めぐりの参加者内訳について詳しくご説明いただいてもよいでしょうか？

高木主任（学芸員） 年齢構成は、30代の方から70代の方までいらっしゃいました。市民のほか、千葉県や埼玉県など、都外からも応募がありました。

二宮会長 先日の本町住宅遺跡の見学会等を含めて、関心の高い方が多くいらっしゃる、という印象を受けました。

高木主任（学芸員） 本町住宅遺跡の話を含めて、ここ最近で市内北西エリアではいろいろと調査が進んでいますので、その成果もご説明させていただくことができましたし、同時にそれを期待されている、という印象を持っています。



二 宮 会 長 小金井桜の名勝指定100周年も含めてうまく情報発信していただければ、と思います。ありがとうございます。

他にご意見ございますでしょうか？よろしいでしょうか？

委 員 全 員 (特になし)

### 3 多摩郷土誌フェアについて

二 宮 会 長 それでは、引き続きまして、「3 多摩郷土誌フェアについて」につきまして、事務局より説明をお願いします。

碓井文化財係長 それでは、多摩郷土誌フェアにつきまして、私の方からご報告させていただきます。

多摩地域各市町の文化財行政担当者が一堂に会し、各自治体の歴史や文化財に関する多様な刊行物を即売式形式で販売するという本イベントは、令和2年度、令和3年度と、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて対面での販売会を中止させていただいていましたが、令和4年度に、令和5年1月21日(土)、22日(日)の2日間、立川市の立川市女性総合センターアイムにて3年ぶりに開催されました。

新型コロナウイルス感染症の第8波の影響が色濃く残っていた時期であったことや、感染拡大の影響等で最終的には19市町の参加であったこと等を受け、参加者数はコロナ前よりは少し少なめという印象でしたが、今回3年ぶりに対面での販売会を開催できた意義は大変大きかったと考えております。主催者である東京都社会教育課長会の今年度会長市である西東京市、会場市である立川市をはじめ、参加された19市町の担当者の皆様並びにご参加いただいた参加者の皆様に御礼申し上げます。

トータルの参加者数につきましては、今後西東京市からご報告があるものと思いますが、小金井市のブースにて刊行物をご購入いただいた方の人数及び売上額につきましてご報告させていただきます。ご購入いただいた方の人数は、令和5年1月21日(土)が27名、22日(日)が13名で、2日間の合計で40名の方にご購入いただきました。売上額は、令和5年1月21日(土)が22,400円、22日(日)が13,150円で、2日間の合計で35,550円でした。小金井市単体で申し上げますと、購入者数、売上額ともに、むしろコロナ前の平均を上回ることができました。事由としては、「小金井市史年表・索引編」や「小金井市の石造物」のような価格やサイズ的に手に取りやすいものが非常に多くご購入いただけたことや、「市史編さん資料 小金井市の石造物(1)・(2)」のような、市史編さんの際に調査収集した膨大な資料、データを生かした刊行物が多く手に取っていただけたこと等が挙げられると考えています。今回の成果、課題につきましては、今後の刊行物計画の立案の際の参考にさせていただきたいと考えております。

以上で私からの説明を終わらせていただきます。

二 宮 会 長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

委 員 全 員 (特になし)

#### 4 市指定文化財「吉野家住宅」「天明家住宅」の修理について

二 宮 会 長 それでは、引き続きまして、「4 市指定文化財「吉野家住宅」「天明家住宅」の修理について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

高木主任(学芸員) 江戸東京たてもの園を管轄している東京都生活文化スポーツ局から修理願が来ていまして、この度許可をいたしましたので、ご報告させていただきます。

市の指定有形文化財、建造物である江戸東京たてもの園の中にあります建物、吉野家住宅、及び天明家住宅、天明家住宅は、附として長屋門と飼葉小屋がそれぞれございますが、今回合計4棟を対象として、修繕を実施することとなりました。

大規模な修繕ではなく、細かい部位の、経年劣化による虫食い等の腐食や、風雨による劣化等の修繕、修復不可能なものについては補修を行う、という方針の下、細かい壁板の補修や、軒下の礎石、束石のズレの修繕等を実施します。文化財をしっかりと維持保存する、という観点での修繕となります。建物の内部に人が入っての体験事業も行われておりますので、細かいところもしっかりメンテナンスされていることが分かるかと思えます。工期は令和5年1～3月で、令和5年3月に完了するという連絡をいただいております。

二 宮 会 長 ありがとうございます。ただいまのご説明について何かご意見、ご質問ございますでしょうか。

高木主任(学芸員) 前回江戸東京たてもの園の視察を行ったのはいつでしょうか？

二 宮 会 長 指定有形文化財に指定した時期ですので、平成26年頃と思います。前回視察から時間が経過していますので、近々見学する機会を設けていただければと思います。

委員全員 (特になし) 他にご意見ございますでしょうか？よろしいでしょうか？

#### 5 その他

二 宮 会 長 それでは、引き続きまして、「5 その他」につきまして、事務局より説明をお願いします。

まず、「(1) 貫井遺跡の発掘調査について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

高木主任(学芸員) 貫井遺跡の発掘調査について、市立三楽公園で行われる整備工事に先立ち、発掘調査を行うことになりました。令和5年2月17日から約1か月間の調査を予定しています。

貫井遺跡は、縄文時代の特に中期の集落遺跡として登録されております。過去の調査においても非常に多くの生活痕跡が発見されている濃密な遺跡です。今回の調査でも縄文時代の遺構の発見が予想されます。

二 宮 会 長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

鈴木委員 三楽公園における発掘調査において、遺構や遺物が発見される可能性はどの程度見込まれますか？

高木主任(学芸員) 三楽公園に隣接する市道の建設工事に際して実施した発掘調査の際には多くの遺構や遺物が発見されていますので、広がり、という観点からは、何らかの遺構や遺跡が発見される可能性は高い、と考えています。

二宮会長 他にご意見ございますでしょうか？よろしいでしょうか？

委員全員 (特になし)

二宮会長 それでは、引き続きまして、「(2) 文化財行政に係る陳情について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

関生涯学習課長 それでは、文化財行政に係る陳情につきまして私の方からご報告させていただきます。

陳情の件名は「4 陳情第52号 小金井市における縄文遺跡群の保護・保存・広報・観光化活動において近隣市とのさらなる連携を求める陳情書」です。本陳情は、令和5年2月8日に開催されました市議会厚生文教委員会における慎重な審議の結果、採択となりました。今後は、令和5年3月に行われる本会議において正式な議決をいただくこととなります。

元来から他市との連携を行ってきたところではありますが、本陳情が採択されたことを踏まえ、引き続き広域的な観点から他市と連携して文化財の周知啓発を行ってまいりたいと思います。

以上で私からの報告を終わります。

二宮会長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

委員全員 (特になし)

二宮会長 それでは、引き続きまして、「(3) 文化財説明板『鴨下製糸工場跡』について」につきまして、事務局より説明をお願いします。

高木主任(学芸員) 令和4年度は、鴨下製糸工場跡をPRすべく、新規の説明板として設置を計画しております。

鴨下製糸工場跡については、現在は跡地にホームセンターが建設されており、跡が残っておりませんので、説明板を設置し、明治～昭和時代において小金井の主要産業であった製糸業の中心であったのが鴨下製糸工場について、文化財としてはもちろん、市史の観点からもPRしていくため、文化財説明板を作製することとしました。

二宮会長 ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

跡が何も残っていない場所に説明板を設置することは非常に意義深いことと考えていますので、設置したことの周知もしっかりと情報発信していただければ、と思います。

高木主任(学芸員) 1点追加で、市指定有形民俗文化財の名称変更について、ご報告させていただきます。市指定有形民俗文化財の「梶四郎家所蔵板碑群」「梶四郎家所蔵宝篋印塔」は、所有者のご逝去に伴い、「梶家所蔵板碑群」「梶家所蔵宝篋印塔」と名称変更させていただきました。本件は、令和5年1月10日に開催された、令和5年第1回小金井市教育委員会定例

会において議決され、令和5年1月17日に告示を行いました。

二宮会長      ありがとうございます。ただいまの内容につきまして、何かご意見・ご質問等ございますでしょうか？

委員全員      (特になし)

二宮会長      本件につきましては、次回でもまたきちんと次第の中に入れていただいた方が良いでしょう。

高木主任(学芸員)      そのように対応させていただきます。

二宮会長      よろしく願いいたします。

#### 6 次回の会議日程

二宮会長      それでは、「6 次回の会議日程」につきまして、事務局より説明をお願いします。

碓井文化財係長      次回の会議日程でございますが、令和5年5月10日(水)午前10時からとさせていただきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

二宮会長      それでは、本日予定された内容は全て終了しました。  
それでは、令和4年度もありがとうございました。また令和5年度もよろしく願いいたします。